NIPPON SPA ASSOCIATION

Annual Report Vol.8

NSPA 2022

目次

理事長からのご挨拶に代えて 01
活動報告 02
環境省調査事業報告 04
NSPAオンラインセミナー概要 05
スパマネジメント講座 08
APSWC 10
D&B抜粋 11
団体会員一覧 17

協会概要

名　称	特定非営利活動法人　日本スパ振興協会　通称：NSPA（エヌスパ）
URL	http://n-spa.org/
設　立	任意団体発足　2002年8月
法人化	2004年2月
代表者	岡田　友悟
所在地	176-0004 東京都練馬区小竹町2-8-8 E-mail：center@n-spa.org

2002年8月、スパの健全な発展と将来に関心のある市民が集まり、「市民に対するスパの利用方法に関する広報と啓発事業」を主目的とした任意団体「日本スパ振興協会」を設立しました。
その後、上記の目的を達成するため市民を対象とした広報活動などを進めて参りましたが、2004年2月に「特定非営利活動法人＝NPO」の認証を受けて法人化し、本年5月に「スパに関する知識の普及と啓発」をテーマにしたセミナーと展示会を開催するところまで歩んできました。
協会は、「スパ」に関する幅広い分野で、市民に対しスパに関する知識の普及を図る活動を推進すると共に、市民が安心して利用出来る環境づくりを実現するため、スパサービス提供者の水準を高める啓発活動を行うなど、公益に寄与することを目的とした非営利事業活動を行い、新しい日本独自の「スパ文化の振興」を推進して参ります。

日本スパ振興協会の目的

日本スパ振興協会は、心身の美と健康の維持・回復・増進を図る予防医学的サービスを総合的に行う「スパ」に関する分野において、スパサービス提供者の水準を高める指導・啓発活動、並びに不特定多数の市民に対する情報提供及び安全で効果的な利用方法など、スパに関する知識の普及を図り、市民が安心して利用出来る環境づくりを実現し、公益に寄与することを目的としております。

スパの広報普及活動

国際的なスパに関する会議と展示会

国際スパ協会と共催で、市民と業界に最新のスパ情報を伝える活動。

スパサービス従事者の質の向上を図る活動

スパ従業者を対象としたセミナーや研修等を定期的に実施して意識と技術の向上を図る活動を行い、市民が安心して利用できるスパを目指します。

理事長からのご挨拶に代えて

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）によりお亡くなりになった方々に謹んでお悔み申し上げますとともに、罹患された方々、不安で辛い日々を過ごされているすべての皆様にお見舞い申し上げます。
平素は協会の活動にご賛同、ご協力賜り、厚く御礼申し上げます。
この1年は本当に新型コロナウイルス感染症に翻弄された1年でした。協会員におかれましても、営業面、管理面すべてにおいて新型コロナ対策で大変な1年を過ごされたことと思います。まだしばらくはウィズコロナが続くと思われます。ウィズコロナでは、きちんとしたコロナ対策をとるのは当然のことながら、接触機会が少なくなる中でリアルだけではないウエルネスや癒しを意識したウェブの活用、ウェブからリアルへの誘導、アウトドア、自然環境との融合が業界も求められていると思います。
アフターコロナにおいては、不透明な時代だからこそ、ウエルネスが重要であり求められます。海外との行き来ができない中、日本国内に目を向けたウエルネスコンテンツの見直しが必要で、日本のウエルネスコンテンツを見直し、発信していくことが、アフターコロナに求められます。
昨年度は、コロナ禍で協会活動も制限される中、無料のウェブセミナーを行いました。マーケティングをテーマに5回、香りとスパをテーマにヨーロッパの情報提供を2回行い、多くの方に参加いただきました、この活動は今後も継続していき、アフターコロナへのヒントを提供していきます。また、この3月にAsia Pacific Spa Wellness Coalitionの国際会議がOn lineで行われました。日本の温泉、技術が世界から注目され、各国のウエルネスやスパ関係者において、日本から3人のスピーカーの参加、日本の温泉のバーチャルツアーが行われ、評価をいただきました。2023年には、リアルで日本での国際会議の開催を求める声も上がっています。
そこでNSPAは、日本ならではのウエルネス“J-Wellness”を発信すると同時に、ピンチをチャンスに変える方向性を示し業界の活性に寄与していきたいと思います。

特定非営利活動法人　日本スパ振興協会
理事長　**岡田友悟**

創立	法人設立	西暦	月	
元年		2002年	8月	任意団体として創立
1周年		2003年		2004年の国際会議に向けて会議を多数行う
2周年	元年	2004年	2月	内閣府より法人認可。5月8日から10日ISPA 2004JAPAN
			5月	5月8日から10日　日本初のスパに関する国際会議「ISPA 2004JAPAN」開催
3周年	1周年	2005年		スパ視察ツアー上海開催
4周年	2周年	2006年	4月	スパの定義制定
			5月	ビューティーワールド参加、スパのモデルルームを展示
			7月	スパベーシックブック刊行
			10月	ダイエット＆ビューティーフェアーに参加
			11月	スパアドバイザー検定（初級）を実施。全国で600名余りが受験（以後毎年開催）
5周年	3周年	2007年	5月	スパアドバイザー検定（プロフェッショナル）を行う（以後ない都市開催）
				スパ啓発の冊子「The Spa Guide」を発行
6周年	4周年	2008年	11月	沖縄で初のスパに関する国際会議「NSPA2008OKINAWA」開催
7周年	5周年	2009年	9月	ホテルレストランショーに参加。AQUA&SPA2009に出展
8周年	6周年	2010年	2月	NSPA2009TOKYOセミナーを開催
9周年	7周年	2011年	9月	第1回 スパ＆ウエルネスジャパンをUBMメディア㈱と共同開催（以後毎年開催）
				NSPA2009TOKYOセミナーを引き継いで、第2回スパシンポジウム開催（以後毎年開催）
				GLOBAL SPA SUMMIT（インドネシア・バリ）参加
10周年	8周年	2012年	9月	World Spa & Wellness Convention 2012（タイ・バンコク）を後援
			9月	タイスパ視察ツアーを開催。ジェトロと協力してタイの温泉、医療の視察と意見交換を行う。
11周年	9周年	2013年	2月	日本初の全国規模でのスパ普及イベント「スパ＆ウエルネスウィーク」を実行委員会として主催（尾後毎年開催・後援）
12周年	10周年	2014年	2月	日本初の大学の正規授業として「スパマネジメント論」の集中講義を国立大学法人琉球大学で行う（以後毎年開催）
			10月	World Spa & Wellness Convention 2014（タイ・バンコク）を後援。指圧を行い、日本代表としてパネルディスカッションに参加
			6月	2月8日を「スパの日」に制定。一般社団法人日本記念日協会に登録
13周年	11周年	2015年	10月	スリランカ　アーユルベーダ視察ツアーを開催
			11月	内閣府に国家戦略特区に外国人スパセラピスト就労の企画提案を行う
			10月	好評につき、スリランカ　アーユルベーダ視察ツアーⅡを開催
14周年	12周年	2016年	9月	「ウエルネスツーリズム」を琉球大学荒川教授とNSPA共著にて発刊
15周年	13周年	2017年	5月	大分県で開催された魁夷京商主催の全国温泉地サミットにて、NSPAの活動報告を行いました。
16周年	14周年	2018年	10月	ベトナム ダナン・フエへの視察ツアーを行いました。
			2月	第6回 琉球大学「スパマネジメント論」を開催
17周年	15周年	2019年	5月	スパアドバイザー検定を開催
			6月	第15回 総会を開催
			9月	第10回 スパ＆ウェルネスジャパン共催
				第12回 スパシンポジウム開催
18周年	16周年	2020年	1月	第7回 琉球大学「スパマネジメント論」を開催
			6月	第16回 社員総会開催（オンラインとのハイブリッド開催）
			9月	第11回 スパ＆ウェルネスジャパン
				初のオンラインセミナー開催
19周年	17周年	2021年	2月	第8回 琉球大学「スパマネジメント論」を開催（オンライン開催）
			6月	第17回 社員総会開催（オンラインとのハイブリッド開催）
			9月	第12回 スパ＆ウェルネスジャパン
20周年	18周年	2022年	2月	第9回 琉球大学「スパマネジメント論」を開催（オンライン開催）
			6月	第18回社員総会開催（オンライン開催）
			9月	第13回スパ＆ウェルネスジャパン

日本スパ振興協会は令和３年度に以下の事業を行いました。

■ 事業運営に関する重要事項を検討、採決するため理事会を設置し、年に数回の会議を開催しています。

定例会議

定時総会：6/11 感染防止対策のため、オンラインとのハイブリッド形式で行いました。
令和２年度事業報告及び収支決算報告並びに令和３年度の事業計画案を会に諮り、承認されました。
理事会：4/9、5/14、6/11、9/14、12/10、R4.1/4、3/11

■「スパの正しい知識」を伝え、市民が「健康維持・回復・増進に貢献するスパ」、「安心してスパを利用できる環境づくり」を推進し普及・広報活動しています。

9/14　スパクリスタルアワード受賞式

「スパクリスタルアワード2021」日本のトップスパの受賞式をスパ＆ウエルネスジャパン内で行いました。
協会の認知と合わせ、業界関係者へスパウィークへの参加を呼びかけました。

R4.2/14～3/14　第10回スパ＆ウエルネスウィークイベント開催（共催）

スパの普及、認知のため、期間中定額料金でスパを利用できる広報企画です。
新型コロナウィルスによる自粛の影響で、例年より少ない参加店数での開催となりましたが、お客様アンケートでは好評をいただきました。

■ 国内外のスパに関する会議と展示会・セミナー等

スパに関する国際的な会議へ出席し、情報交換や海外へ日本のスパを発信しています。
また、国内外の展示会への出展や講演・パネリストでの参加などを積極的に行い、協会活動の広報のみならず、国内のスパを広く紹介しています。
日本の観光・文化は世界的に注目されており、温泉を含めた関連業界と連携するとともに、環境省や観光庁、自治体などが主催するイベントや会議にも参加し、意見交換を行っています。

9/13～15　スパ＆ウエルネスジャパン 2021　協賛・出展 / 第13回 スパ&ウエルネスシンポジウム共同開催

第13回スパ&ウエルネスシンポジウム　「地域の資源活用と健康・美容サービス」第一部基調講演の後、第二部にて岡田理事長が、アマングループスパディレクター 清野氏とディスカッションを行いました。
「〇〇〇×ウエルネス×日本」のセッションに岡田理事長が参加しました。
当協会のブースを出展して協会の広報を行いました。

4/22、5/18、10/27、12/1　NPO法人健康と温泉フォーラムが主催する月例勉強会を共催しました。

岡田理事長、ケイ武居理事をはじめ多くの会員が参加しました。
ケイ武居理事が「温泉ウエルネス研究」に専門委員として参加しました。

■ NPSAオンラインセミナーの開催

昨年度より、コロナ禍の新しい取組でスパやウエルネスの広報活動の一環として、会員だけでなく広く一般の方も視聴できる無料のオンラインセミナーを開催しています。　テキストでは伝えきれない、スパやウエルネスの雰囲気を感じていただきたく『スパとウエルネスを学ぶ』をコンセプトに、幅広いテーマでお送りしています。
会員の皆様には、アーカイブをご覧いただけるようになりました。

7/16　　「涼を感じる夏のアロマスプレーを作る～アロマミニ講座」

■ スパサービス従事者の質の向上を図る活動

スパ従業者を対象としたセミナーや研修等を定期的に実施して、意識と技術の向上を図る活動を行っています。業界全体の向上が、市民が安心して利用できるスパを増やし業界の発展に繋がると考え、理事会の他に教育委員会を設け専門家からの意見も取り入れながら協会の指針を作っています。
また、検定や講座用のテキストとして、スパベーシックブックを常時販売しています。

スパアドバイザー検定試験実施

随時、スパアドバイザー初級・プロの検定を行っています。

11/2、11/16、12/1、12/2　スパアドバイザー検定対策セミナー開催

R4.2/11～13　「琉球大学 スパ＆ウェルネス論～基本からマネジメントまで～」開催

第9回目のスパ＆ウェルネス論は、沖縄 琉球大学が主催で当協会理事等が講師として招聘され、オンラインでの開催となりました。学生約30名及び社会人6名が参加しました。

■ 官庁への要望活動及び近隣業界との交流等

当協会はスパ業界の発展のため、官公庁への要望活動や近隣の業界団体とのネットワークを構築しています。また、官公庁からの通達等を会員に案内、HPで告知し、情報を随時配信しています。

先端設備に係る仕様等証明書発行窓口（1件発行）

生産性向上設備投資促進税制にともない、当協会がスパ設備に関する証明書発行窓口を行っています。

近隣業界の総会やイベントへの参加

- 4/12～13　沖縄エステティック・スパ協同組合イベント
- 5/19　沖縄エステティック・スパ協同組合総会
- 5/22-23　日本温泉気候物理医学会　学術総会
- 10/28　国際指圧普及財団総会

■ 調査事業

新・湯治の効果に関する協同モデル調査（令和3年度）「健康意識改革のための温泉ウェルネスプログラム」の調査事業を環境省から受託し、実施しました。

10/8～10　モニターツアー

NSPA が環境省から受託した調査事業の結果をご報告いたします。

新・湯治の効果に関する協同モデル調査（令和３年度調査結果）

～健康意識改革のための温泉ウェルネスプログラム～

調査の目的・概要

適正な血糖値の維持は病気の予防になるが、そのためには食生活や適度な運動、過度なストレスを溜めないなどの生活習慣の改善が有効だということが知られている。本調査は、温泉入浴と自然環境でのアクティビティ等のウェルネスプログラムを体験し、意識改革により生活習慣の改善及び健康関連QOLが改善することを期待して、都市部で働く成人を対象に非観血型持続血糖値モニタリングキットを用いて血糖値の変化を可視化し、プログラムの効果を検証する。

調査の基本情報

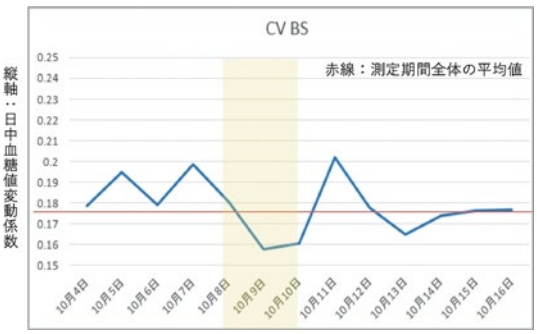
調査実施主体	特定非営利活動法人日本スパ振興協会
調査温泉地	増富ラジウム温泉郷（山梨県北杜市）
調査テーマ	健康意識改革のための温泉ウェルネスプログラム
連携専門機関	愛知医科大学整形外科学講座
調査時期	令和3年7月～令和4年2月
調査協力者	都市部で働く成人（12名）

調査結果のポイント

3日間のウェルネスプログラムにより、期間中の主観的及び客観的な健康関連指標の改善効果が証明された。

右図では、プログラム実施期間中（黄色のエリア内）、血糖値の変動が少なかったことを示しており、体調がよかったという多くのモニターの意見を数値が裏付けている。

一方、プログラムを通した意識改革により、セルフマネジメントによる各種指標の改善を期待したが、これらの効果は得られなかった。



考察

ウェルネスプログラムの効果が、一時的であるとしても科学的にも証明された。
今後については、参加者への効果のフィードバック及びプログラムの反復介入を行うことにより、生活習慣病の予防へつながる意識改革をもたらす可能性が考えられる。

NSPAは、「ウェルネスとスパを学ぶ」をコンセプトに、幅広いテーマでお送りしています。2021年度末から2022年に開催したセミナーの内容をご紹介いたします。

第6回　「香りの都フランス グラース ～香りの聖地をアロマセラピストとめぐる旅～」

2021年2月開催／講師：ケイ武居

【グラース】

フランス南東部の街グラースは、世界的な香水の一大産地で毎年世界中から調香師が修行に来るほどで、アロマセラピーの誕生の地としても有名です。世界の香料の聖地と言われるグラースですが、12世紀ごろは皮革製造業を中心として栄えていました。当時、社交の場で使われていた皮手袋に香りをつけたことで、抗菌効果もあり人気商品となりました。地中海特有の温暖な気候と優れた土質は香料植物の生育にとても適していたので、グラースの天然香料工業は順調に発展を遂げていきました。のちに、皮革製造業は衰退、16世紀後半に「香料の街」としての第一歩が踏み出されました。

グラースにある国際香水博物館には、古い蒸留器や芸術品のようなアンティークの香水瓶など5万点ものコレクションがあります。そのなかでも「4711」と呼ばれる香水は世界初のオーデコロンでとして有名です。ナポレオンがドイツのケルンを占領時、家々につけた番地がそのまま商品名になっています。香水のレシピはナポレオンが命令しても明かされず、その調合は200年以上たっても門外不出だそうです。

【香水】

紀元前1850年香水を製造していたという最古の工場跡がギリシャで発掘されています。古典的な香料製造方法は動物性脂肪に香りを移していく大変手間のかかる作業でした。その後、アルコールに溶かす香水が作られ、十字軍遠征によってヨーロッパ中に伝わり、ルネッサンス期には蒸留技術はさらに進化しました。このアルコールベースの香水が後に、現在のような香水として使われるようになりました。

グラースにある有名な香料メーカーの一つ、ガリマール社は1747年に創立されたグラース最初の香水メーカーの一つです。ジャンドガリマール氏がルイ15世に香水を提供していたとされています。今回、私はこの老舗香料メーカーのガリマール社の短期調香師講座（3日間の自社調香師とマンツーマン指導）を受講しました。

一つの香水には平均200種類の香料が独自の配合でブレンドされています。植物性香料だけでなく動物性香料（ジャコウジカ、ジャコウネコ、マッコウクジラの腸内結石）や合成香料も使われます。合成香料とは自然界の香りと同じ構造の化合物や天然にないものを合成したものです。例えば、白檀（びゃくだん）の天然香料はサンタロールという物質ですが、非常に希少で、フランスのジボダン社は「サンダロア」、スイスのフィルメニッヒ社は「ポリサントール」などの合成香料を開発しました。単純香料とは天然の香料からある成分を物理的に操作したり化学処理で取り出したもので、例えば、ハッカ油からメントール、オレンジ油からリモネンが得られます。

【調香師】

調香師＝パヒューマーは、化粧品やフレグランス、トイレタリーや洗剤などの他、菓子食品類に使用される香りを調合する仕事で、フランスでは「ネ＝鼻」と呼ばれています。フランスには有名な学校が3校ありますが、うち2校はパリに、1校はグラースにあります。嗅覚の才能に恵まれた人が、専門学校で3～4年間学んだあと、研究所や企業で経験を積み、一人前になるには早くとも10年の歳月がかかるといわれ、フランスでは大変貴重な存在であると同時に尊敬される憧れの職業です。

調香師の部屋には大きく翼を広げたような机があり、香料の原料が入っている小瓶がパイプオルガンのよう並べられています。一流の調香師は5000種類近くの香りを記憶しているといわれていますが、このような香りのオルガンには少なくとも2000種類の番号がつけられた瓶が並び、そのうち1000種類が頻繁に使われるそうです。まさに、調香師はオーケストラの指揮者であり、香水は交響曲なのです。すべての香りを認識するための鋭い感覚を持ち、膨大な香りの種類を記憶し、常に自分自身の健康や体調を整え、集中力と根気を持ち、正確に分析する能力を持ち、注文に併せてまとめ上げる豊かな想像力と美的センス、そして総合力が必要になります。

第7回　「スパ発祥の地、ベルギーのスパ市 ～ケイ武居のスパ体験レポート～」

2021年3月開催／講師：ケイ武居

【スパ市】

SPAは温泉・療養温泉を意味しますが、スパ市はスパの語源ともいわれる水の街です。他にもラテン語でsolus per aquaとかSanitas Per Aqua「水から作られる健康」の頭文字をとってS-P-Aという説やワロン語で泉「espa」から取ったという説もあります。

16世紀にヨーロッパ全体に飲料として温泉水を輸出したことから始まり、今日でも町の周辺で産出されるミネラルウォーターは、ベネルクス三国（ベルギー、オランダ、ルクセンブルグ）を中心に広く流通しています。

【スパ療法の歴史】

日本では、江戸時代後期に温泉手形が発行され湯治文化や温泉療法の原型ができたといわれています。ヨーロッパでは、治療や癒しのため天然の泉や温泉の周りに入浴施設を作り、入浴の習慣は古代ギリシャから始まりました。ローマ帝国が拡大するにつれ、公衆浴場の考えが地中海やヨーロッパへと広がっていきました。フランスのヴィシー、イギリスのバース、ドイツのアーヘン、オーストリアのバーデンバイウイーンなどにも庭園を備えた豪華な温泉施設が作られていきました。そこでは機能的な入浴方法以外にも、汗をかくことやマッサージ、適切な休息なども行われていました。これらの入浴方法や建築がのちのヨーロッパやアメリカの入浴施設にも影響を与えたといわれています。

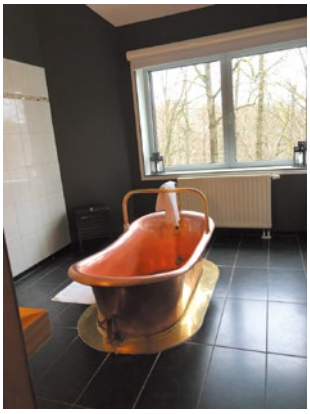
飲泉については、鉄の欠乏症に対する治療として行われていました。ベルギーのスパ市でも1326年、リエージュ出身のCollin le Loupが鉄泉を発見し、その泉の周りに有名な健康リゾートが成長しました。「スパ」という用語は、天然温泉の近くにある、あらゆる健康リゾートを指すようになり、上流階級の社交の場として長期滞在型の療養施設となっていったのです。

【Thermes de Spa　テルムドスパ】

その代表的なものが今回ご紹介する「Thermes de Spa」テルムドスパです。創業当時の滞在のルーティンの一例は、朝起きて飲泉と軽い朝食→温浴→蒸気浴→冷却室でリラックスなどです。医師による診断もありました。20世紀初めには食事や運動療法も組み合わされ、今日のスパ療法へ発展していきました。

街の中心部にあるテルムドスパの旧建物はぜひ訪れてほしい場所です。ブリュッセルの建築家レオン・スイによって1868年に建てられたネオクラシック様式の豪華で巨大な建物です。

新テルムドスパは、街を見渡せる小高い丘の上に2004年3月にオープンしました。プールエリアとスパエステエリアに分かれていて、ジャグジー、露天プール、レストラン、サウナが併設、一日のんびりと過ごすこともできます。このスパの最大の目玉は、源泉から引いた3つの炭酸泉が利用できることです。



①クレメンタインの泉：重炭酸塩とカルシウムが豊富。リラクセーション効果が期待され、飲泉の効果は消化、肝臓の無害化などに利用される。
②女王の泉：ミネラル塩が非常に少なく、毒素を除去する飲み物として利尿治療などに利用される。
③マリーアンリネットの泉：スパの中で最も古い泉（約400年前）で、天然の鉄分と炭素が含まれる。炭酸浴、ピート浴（痛みとリウマチの治療に利用）、吸入（水に含まれた硫黄が作用する）に使用される。

スパのメニューの中で、一番のおすすめの炭酸泉浴を体験してみました。創業当初と変わらない銅製のバスタブの中には無色透明、やや鉄の香りのする柔らかめの炭酸泉がプチプチプチと音をたてて入っています。窓からは遠くに山の稜線、近くには自然林が見渡せる個室で、30分ほど入浴します。炭酸泉の細かい泡がびっしりと付くようで大変心地よく素晴らしい体験でした。スパ市のテルムドスパは、完全リニューアルを機に時代のニーズに合わせてプールエリアの娯楽と、スパエステエリアの美容健康の促進とをうまく融合し現在も多くの人に利用されています。

第8回　「涼を感じる夏の調香アロマスプレー作り ～NSPAアロマミニ講座～」

2021年7月開催／講師：ケイ武居

　初めてでも簡単に、自分自身で自由に選べるアロマ調香のコツも学べる体験をオンラインセミナーで行いました。コロナ禍の中、長引く不自由な生活の中で心身ともに疲れた自分を癒して、免疫力を高めつつ夏を快適に過ごすためのオリジナルの涼感アロマスプレーを作る講座です。

　参加者には事前にアロマキット（レモンティートリー、ペパーミント、ユーカリラディアータの3種類の精油とその他含む）をお送りして、当日はZOOMで、脳に香りが届く嗅覚のメカニズムを説明した上で、手元の天然香料の特徴を試香紙を使ってじっくり味わいながら、一日調香師になったつもりで自分ならではの香りつくりを目指しました。

＊参加費2千円、定員30名　申込順にて締切（アロマキット料金・送料・TAX含む）

①エッセンシャルオイル3種類（レモンティーツリー/ペパーミント/ユーカリラディアタ）　②計量カップ
③ムエット（試香紙）×3　④小ボトル（無水エタノール約8ml入り）　⑤大ボトル（精製水約50ml入り）
⑥空のスプレー容器　⑦ラベル用のシール×2

琉球大学
「スパマネジメント論」

毎年沖縄県の琉球大学で行われる「スパマネジメント論」も9回目を迎え新たに「スパ＆ウエルネス論」として2022年2月11日(金)～13日(日)の3日間ウェブで開催されました。
今年はコロナの影響でリアル開催かウェブ授業か直前まで検討していましたが、残念ながらウェブ授業となりました。
学生約30名と社会人6名の約36名で行われました。最終日に「理想のウエルネススパ」のグループワークでのプレゼンテーションをする予定でしたが、リモートでのグループワークができないため、個人でのレポート提出となりました。
講師陣にはNSPAから岡田理事長をはじめ専門家講師と今年新たに沖縄県エステティック・スパ協同組合から識名理事長と川島監事、話題のハレクラニ沖縄の永野スパマネージャーにも加わっていただきました。
参加者からは非常に実践的で有意義な3日間との評価をいただきました。

講義名：　琉球大学国際地域創造学部ウェルネス研究分野専門科目「スパ&ウェルネス論　～基本からマネジメントまで～」
日程：　2022年2月11日(金),12(土),13日(日)
協力：特定非営利法人日本スパ振興協会(NSPA)、沖縄県エステティック・スパ協同組合
SPA業界の第一線で活動する産学専門家による日本初のSPA大学正規授業科目(初年度2014年～)
Afterコロナにおける新しいライフスタイル・ウェルネスツーリズムの価値創造を考える3日間集中講義

(敬称略)

月日	No.	時間	講義タイトル	講義概要	講師名	講師所属・役職等	実施場所
2月11日 金曜日	1	8:30-10:00	スパ概論	スパの基礎知識と日本のスパ市場と温泉	岡田 友悟	NPO日本スパ振興協会 理事長	web
	2	10:20-11:50	ウェルネス概論	ウェルネスの進化とウェルネスツーリズム	荒川 雅志	琉球大学国際地域創造学部ウェルネス研究分野 教授	
	3	12:50-14:20	スパのメニュー　1	スパトリートメントの基本　ハンドトリートメント体験	川島 直巳	沖縄県エステティック・スパ協同組合　監事 アイランドヒーリング株式会社　代表取締役	
			スパのメニュー　2	沖縄オリジナルトリートメント「琉球ていんなでい®」	識名 由美	沖縄県エステティック・スパ協同組合　理事長 株式会社ASファクトリー　代表取締役	
	4	14:30-16:00	Jウエルネスとは	新たな日本のウェルネス産業を考える	江渕　敦	インフォーマ マーケッツ ジャパン(株) ダイエット&ビューティー編集長/Jウエルネス振興会 代表	
	5	16:10-17:50	セッション1	withコロナのウェルネスツーリズムを考える		課題作成	
2月12日 土曜日	6	8:30-10:00	日本のスパ&ウエルネス産業の実態	Withコロナの健康・美容産業を指数で分析する	江渕　敦	インフォーマ マーケッツ ジャパン(株) ダイエット&ビューティー編集長/Jウエルネス振興会 代表	web
	7	10:20-11:50	スパ・ウェルネス産業の世界動向とイノベーション	世界市場の分析とビジネスモデルの考え方	丸山 智規	三井情報株式会社　チーフコンサルタント GWS Hot Springs Initiative Board Member 日本代表	
	8	12:50-14:20	スパデザイン・環境	スパ＆ウェルネス施設の環境設計	浜田 幸康	P.D.S.アーキテクツ一級建築士事務所 代表取締役	
	9	14:30-16:00	世界のウェルネスマーケティング	ホテルスパにおけるファイナンス計画と事業戦略	相馬 順子	(株)コンセプトアジア 代表取締役 GWS　ボードメンバー兼2019年サミットCo-Chair	
	10	16:10-17:50	セッション2	withコロナのウェルネスツーリズムを考える		課題作成	
2月13日 日曜日	11	9:00-10:00	スパのメニュー	ヨガ実習	山本 玲子	Studio Sweet Lotus代表　全米ヨガアライアンスRYT200 インド政府認定校ヨガ哲学指導者 内閣府認証 日本統合医学協会 メディカルヨガ認定講師	web
	12	10:20-11:50	スパのリスクマネジメント	ホスピタリティ産業のリスクマネジメント	平野 典男	琉球大学国際地域創造学部 教授	
	13	12:50-14:20	ウェルネススパの事例1	リゾートホテルスパの事例	永野 真利亜	ハレクラニ沖縄 スパマネージャー	
			ウェルネススパの事例2	タラソセラピースパの事例	図師 理佳	カンナタラソラグーナ支配人 琉球大学ウェルネス研究分野プロジェクトマネージャー	
	14	14:30-16:00	セッション3	withコロナのウェルネスツーリズムを考える		課題作成	
	15	16:10-17:50	セッション4	withコロナのウェルネスツーリズムを考える		課題発表	

学生のレポート事例

やんばるの森で過ごすツリーハウスパ

207083K　宮里愛友香

コロナの影響を受けた社会課題

・コロナ感染を防ぐために、３密に注意して行動しなければならない

・リモートワーク、オンライン授業が増えたことによるデジタル疲れ

・日々の生活に制限がかかることから、ストレスを感じることが多くなる

今、私たちが求めるもの

コロナ対策を行ったうえで，
日頃の疲れやストレスを癒すような
非日常を味わうことができる体験

⇨　大自然の中でのスパ体験を提案

沖縄の大自然「やんばるの森」

やんばるの森ってどんなところ … ？

・沖縄本島随一のジャングル地帯

・亜熱帯ならではの植物、動物が生息している

・2021年に世界自然遺産に認定
　➡国内だけでなく世界からも注目を集めている

なぜ、森林×スパなのか

▶ 森林で期待できる効果

・ストレスホルモンの減少

・活気活力の意欲、エネルギーの回復

・身体の痛み等の自覚症状の改善

・全体的健康、心の健康等の気分の改善

▶ スパで期待できる効果

・ストレス解消、疲労回復

・リラックス効果、癒し

・自分のことを大切に、自分について見つめなおすことができる

・贅沢で、非日常的な時間を味わえる

ツリーハウスパ

極力自然を壊さず自然を間近で感じるために
→ツリーハウスを提案

開放的な空間での施術
→万全なコロナ対策
身も心も自然と一体化することが可能

男女年齢関係なく、日々の疲れを癒したい方、非日常を味わいたい方、自然が大好きな人をターゲットに！！

日々の疲れをツリーハウスパで癒しませんか

ASIA PACIFIC
SPA & WELLNESS COALITION

世界をゆるがしている新型コロナウィルスのパンデミックによりAPSWC(アジア・パシフィック・スパ＆ウェルネス・連合)でのさまざまな活動も影響を受けており、活動内容はいまだ制限されています。昨年の総会において理事(Director Business Development - Services)として選任されこの1年間NSPAを代表して活動してまいりました。毎月第一水曜日の日本時間18時より開催されている定例月次理事会にはオンラインで参加をしています。

はじめに2022年3月にダナン、ベトナムにて予定されていました「ラウンドテーブル2022」のイベントは中止を余儀なくされましたが、3月15日にはAPSWCの年次総会がオンラインにて無事開催されました。各理事からの年間活動報告が行われた後に一部理事改選があり、そこで2名の理事再任と新たに3名の理事が選任されました。

- Chairman(再任): Andrew Jacka
- Treasurer(新任): Amanda Ooi
- Director Events(再任): Khem Dhami, CHT
- Director Business Development - Products(新任): Samantha Dunn
- Director - Social Media(新任): Hendry Luis, M.D.

2023年3月を予定しています「ラウンドテーブル2023」は今後の理事会において議論し開催候補地(バンコク・タイ、東京・日本、ダナン・ベトナム、バリ・インドネシア)から選定する運びとなっています。

APSWCとしては引き続き「サスティナブルに対するスパ＆ウェルネス業界の発展について」をメイン課題とし、各業界団体との連携をより強固にするためにさまざまな取り組みをしていく予定です。

APSWCとして積極的な情報発信と新規会員の獲得を強化するために、YouTubeチャンネル(APSWC Org)を開設しています。まだ登録者数は152人で投稿動画数は33本ですが、2021年のラウンドテーブルで各国の伝統療法を紹介したセッションの中で日本からは「指圧」をプレゼンテーションしましたが、その動画の再生回数が7.7万回と他の動画と比べて群を抜いて海外で注目をされています。今後は沖縄県エステティック・スパ協同組合と連携し、沖縄オリジナルトリートメントの「琉球てぃんなでぃ®」を海外へ発信していく予定です。

その他、現在FTI(タイ工業連盟)とのコラボレーションプロジェクトが進行中です。近い将来渡航規制が撤廃されたときのためのインバウンド対策としての事前準備を始めました。FTI に加盟する1万3千社のなかで約1万人以上が保持しているFTI e-card会員の方々がビジネスやプライベートで訪日しスパやウェルネスを求めた際に、新規顧客としてビジネスに取り込むチャンスを創出できる仕組みのアウトラインを構築しています。またAPSWCとFTIが相互協力し互いの会員に多くのメリットを提供できるように今後関係を深めていく予定で、このプロジェクトリーダーをAPSWCを代表して私が担っております。

理事任期満了まであと1年間、しっかりとNSPAを代表して役割を果たしてまいります。

報告：高 智光

NSPA団体会員様

スパ施設	株式会社飯田産業(江の島アイランドスパ)	http://www.enospa.jp
	株式会社OMGホールディングス	http://omg-holdings.co.jp
	べにや無何有「円庭施術院」	http://www.mukayu.com
	Lapidem株式会社	https://lapidem.co.jp
	株式会社ランドアンドヒューマン	http://www.natural-reflex.co.jp
スパオペレーション	EGAO株式会社	https://www.egao.website
	株式会社サンリツ	http://www.montsaintmichel.jp
	株式会社パシフィック・ホスピタリティ・グループ	https://phg-spa.com
	有限会社パナ・ン	http://pana-n.jp
	株式会社リバース東京	https://www.rebirth-tokyo.co.jp/
学校・教育機関	学校法人古武学園　高津理容美容専門学校	http://www.kozu.ac.jp
	学校法人滋慶学園　札幌ベルエポック美容専門学校	http://www.sapporo.belle.ac.jp
化粧品等メーカー	クラシエホームプロダクツ販売株式会社	http://www.kracie.co.jp
	スタービューティー株式会社	http://www.starbeauty.co.jp
	株式会社ポーラ	http://www.pola.co.jp
スパ関連用品メーカー	貝印カミソリ株式会社	http://www.kai-group.com
	株式会社コネクト	http://www.enherb.jp
	シック・ジャパン株式会社	https://www.schick-jp.com
	タカラベルモント株式会社	http://www.takarabelmont.co.jp
	滝川株式会社	http://www.takigawa.co.jp
	株式会社日祥商会	http://www.nissho-s.co.jp
	株式会社ヘルスビューティー	http://cosme-com.com
	ライブラナチュテラピー株式会社	http://www.libra-kobe.co.jp
スパ設計・設備・施工	株式会社アクアエンタープライズ	http://www.aquaenterprise.co.jp
	テクノ・オーシャン株式会社	https://techno-ocean.co.jp
	株式会社トリリオン	http://www.trillion.jp
	株式会社メトス	http://metos.co.jp
コンサルティング	サンヨーインターナショナル	http://www.hotelmarketing-jp.com
	株式会社ネスパ	http://nespa.com
	株式会社ヒューマンリソースコミュニケーションズ	http://www.augustya.co.jp
その他	沖縄県エステティック・スパ協同組合	https://okispa.com
	一般社団法人健康百寿協会	http://life-extension-association.org
	一般財団法人国際指圧普及財団	http://shiatsu-foundation.org
	一般社団法人日本化粧品検定協会	http://cosme-ken.org
	税理士法人依田会計	http://www.yodacpa.co.jp

*五十音順　2022年3月末現在

NIPPON SPA ASSOCIATION

NSPA2022（非売品）
2022年5月1日発行（第1号）
発行者 NPO 日本スパ振興協会
http://n-spa.org/
E-mail: center@n-spa.org